

児童朝会 校長の話 5月30日

5月24日が浅草小学校の149回目の誕生日でした。そこで、児童朝会では、校歌について、そして学校ができた当時の様子について話してきました。今日は、今までの149年の歴史の中でたくさんの困難なことを乗り越えてきましたが、その中でも学校の先生や地域の人が協力して乗り越えた大きな出来事についてお話しします。

昭和20年、戦争中の出来事です。3月9日の夜中、10日の0時を回ったころ、アメリカの戦闘機 B29 が東京の上空にやってきて、爆弾をたくさん落としました。瞬く間に火事が広



がり、町は火の海に

なってしまいました。東京の東部の地図で、赤い色の部分が焼けてしまったところです。東京の東側はほとんどが焼けてしまい、浅草の辺りも赤く塗られています。そんな中で、浅草小学校は、学校の先生や町の人たちの懸命な消火活動により焼けずに残ったのです。その時の様子を当時浅草小学校に勤めていた先生が記録を残しているので読みます。長い文章なので短く抜粋して読みます。



<創立140周年記念誌より一部を部分的に抜粋>

職員室の椅子に腰を下ろしたとき、超低空で飛行機が校舎の上を北西に飛び去った。爆音が気になったので私は表に飛び出し四方を見回した。すぐ目の前の仲見世通りから火の手が上がっていた。「空襲だ！」と怒鳴った。予想した通り避難者がどんどん駆け込んでき

た。学校にたどり着いた避難者は元気な若者が多かった。若者たちは廊下の窓から自分の家の方を眺めて呆然と立っていた。魂の抜けた人形の様だった。涙を流している者もあった。私は彼ら一人一人の肩を叩き大きな声で怒鳴って、火叩き、砂、水桶の位置等を教えて火の粉一つも校舎に入れようように頼んで歩いた。すると彼らは魂を呼び覚まされたように生氣を取り戻して私の指示に従ってくれた。一階、二階、三階と回って私は屋上に出た。一人の人が立っていた。「先生、屋上は私が見張っています。大丈夫ですから下の方を見てください。」と言った。「お願いします。」と私は声をかけて屋上から言問橋の方向を眺めた。人間が吹き倒される様な凄い風が吹いていた。火の跳ねる音、すさまじい風の唸り、その音のすき間に人間の悲鳴と思われる声が聞こえ言問橋は火の帯が本所側に続いていた。校庭に出た。B29の空襲機が何機も編隊を組んで頭上を通り過ぎ、ササーササーと音がして焼夷弾が落ちるのが花火のように見えた。その一つが講堂の方に落ちたように思えた。私は講堂の方に駆けて行ってみた。講堂の隙間からのぞいたカーテンの裾に燃え移った。もう一人の先生と二人で力を合わせてコンクリートの壁からカーテンを引き抜くとドサリとカーテンは床上に落ちた。二人で踏みつけると間もなく火は消えた。私たちの靴に貼りついた火はどうしても消えない。講堂の後ろにある砂場まで走っていき砂の中に靴をねじりながら火を消し止めた。火の勢いが烈しいので炎の先が窓ガラスに当たり、ピンピンという音と共にガラスにひびが入り始めた。私たちは校庭に置かれてあった小型ポンプに気が付いた。私たちはガラス窓に水をかけないように三階から水を張ることを考えた。プールの水をくみ上げて三階から床の上を一面水浸しにした。二階も階段を伝わって一階まで一杯に水が流れた。私は「しめた！」と思った。そのうちに学校の西側も南側も大部分の家が焼け落ちた。もう学校に燃え移る心配はなくなった。

こうして、浅草の町は焼けてしまいましたが、浅草小学校は残ったのです。浅草小学校に避難してきた人は全部合わせると2万5千人になったそうです。近くの学校もみな焼け落ちてしまったので、その年の11月からは、田原小学校、金竜小学校、千束小学校、富士小学校、そして浅草小学校と、5校の小学生が浅草小学校の校舎で一緒に学んだそうです。

浅草小学校の先生や地域の方々が命がけで学校を守ったことが分かりますね。どれほど子供たちが学ぶ場、学校を大切に思っていたかが伝わってきます。そして149年の歴史を刻んでいる学校です。これからもずっとこの学校を大切にしていきたいですね。

今日はもう一つお話をします。

皆さんはコロナウイルス感染症の対策として毎日マスクをして生活していますね。基本的な感染対策としてマスクをすることは変わらないのですが、暑くなってきたので、これからは外して生活する場面があります。体育の時間です。校庭でも体育館でも、運動をするときはマスクを外します。また、学校に来るとき、帰る時、外で歩いているときはマスクを外します。バスや電車に乗っている時や、駅では人が大勢いるのでマスクをしてください。また、休み時間運動をして遊ぶ時は外します。ただし、マスクを外しているときは大きな声で話さないように気を付けましょう。

それから、皆さんの中には、体調によってマスクが外せない人や逆にマスクができない人がいます。外から見ているだけではお友達の体のことや健康のことは分かりませんね。ですからマスクをしていなかったりあるいは外せなかったりすることについて何か言うことはやめましょう。お互いにお友達を大切に仲良く生活できるようにしてください。